

109 糖尿病ラットでの心筋における norepinephrine transporter 機能の変化

清野 泰、佐治英郎、木下知子、横山 陽、飯田靖彦、館野 円、小西淳二（京大薬・医）、玉木長良（北大医）

糖尿病において、心筋への MIBG の取り込みが前壁に比して下壁で低下することが報告されている。そこで本研究では、streptozotocin 糖尿病ラットを作製し、このモデル動物における、MIBG の取り込みに関与する norepinephrine transporter (NET) 機能の局所的な変化について調べ、NET 機能を対象とした心機能診断薬の開発の可能性について基礎的に検討した。その結果、³⁵S 標識合成オリゴヌクレオチドをプローブとする in situ hybridization により NET の mRNA 量、また 3H-desipramine を用いた in vitro assay により NET の Bmax が、コントロール群に比べ糖尿病ラットでそれぞれ下壁において低下していることが認められ、糖尿病での心筋において NET の発現に局所的な変化があることが示された。